

2025年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

主催 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

協賛 一般社団法人日本塗料工業会、日本プラスチック工業連盟、
一般社団法人日本防錆技術協会、公益財団法人スガウエザリング技術振興財団

開催日 2025年11月26日(水)、11月27日(木) 2日間

会場 第1日(11月26日) AP浜松町 D+Eルーム 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館 B1F 及び
Zoom ウェビナーによるハイブリット開催

第2日(11月27日) 銚子暴露試験場

参加料 参加料は、請求書をお受け取り次第お支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月26日)のみ	無料	3,000円
第1, 第2日(11月26日, 11月27日)2日間	1,000円	4,000円

注) 消費税, 11月27日の参加料は昼食代込み。請求書不要な方は、申込時にお知らせください。

振込先

三菱UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸ノ内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
(サイ) ニホンウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

参加申込 当財団 web サイト上の発表会ページ(<http://www.jwtc.or.jp/seminar/>)でお申し込みください。

※申し込みにはGoogle フォームを利用しております。

参加申込の送信後、Google フォーム (forms-receipts-noreply@google.com) より
入力内容の確認メールが入力頂いたメールアドレスに送信されます。
確認メールが届かない場合、入力頂いたメールアドレスに間違いがある可能性がありますので、事務局までご相談ください。

参加申込用 QR コード



Google フォームの利用ができない場合は、発表会ページにある申込様式 (Word)
にご記入のうえ、事務局までメールでご連絡ください。

- 留意事項**
1. 参加申込締切日は、11月19日迄とし、定員は会場80名、オンライン200名とします。
 2. 第2日(11月27日)の参加定員は15名とします。交通の詳細は、別途ご案内いたします。
 3. 申込受付を事務局にて確認後、参加申込者宛にメールにてご連絡いたします。
 4. 配信URL(オンライン参加の方)及びテキストは、前日までにメールにてお送りいたします。
 5. 正規受付け後のキャンセルは致しかねますので、あらかじめご了承ください。

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11
TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529
E-mail : seminar@jwtc.or.jp

プログラム

11月26日（水）

AP 浜松町 D+E ルーム

時 間	テ ー マ・講 師（敬称略）	
13:00～13:05	開会挨拶 当財団 事務局	
13:05～13:45	積雪による寒冷地における鋼材腐食への影響 北海道大学 大学院工学研究院 坂入 正敏	
13:45～14:25	計算科学を活用した鋼材腐食挙動の解析 株式会社神戸製鋼所 小澤 敬祐	
14:25～14:35	休憩	
14:35～14:50	一般財団法人日本ウエザリングテストセンター(JWTC) 2025 年度試験研究報告	
		ポリエステル GFRP 板の長期耐久性に関する研究-暴露 30 年までの外観と力学的特性の変化- JWTC 銚子暴露試験場 促進試験担当課長 額賀 圭介
14:50～15:30	規格、相関性を重視した『キセノンランプ式耐候性試験装置』の最新技術動向 岩崎電気株式会社 森 一郎	
15:30～16:10	全国公設試における高分子複合材料の屋外暴露試験について 国立研究開発法人産業技術総合研究所 大石 晃広	
16:10～16:15	休憩	
16:15～16:55	日本国内における炭素鋼及び亜鉛を対象とする推定腐食マップ 一般財団法人電力中央研究所 大原 信	
16:55～17:00	閉会挨拶 当財団 事務局	

11月27日（木）

銚子暴露試験場見学会

時 間	テ ー マ・講 師（敬称略）
13 : 00～15 : 45	銚子暴露試験場設備機器の説明及び見学，耐候性に関する質疑応答 当財団 銚子暴露試験場 職員

発表の概要

積雪による寒冷地における鋼材腐食への影響	北海道大学 大学院工学研究院 坂入 正敏
湿食に分類される大気中もしくは水溶液中の腐食は、融雪剤（塩）を考慮しなければ低温環境では厳しくないと考えられてきた。しかし、北海道内の日本海側における冬季の曝露試験などから、氷点下になる冬季における腐食は、温度から予想されるよりも厳しいことが明らかになってきた。その理由として積雪による影響が予想され、寒冷地における曝露試験を実施してきた。また、低温における電気化学測定により低温の腐食挙動の解明を行ってきた。本講演では、これらの結果について紹介する。	
計算科学を活用した鋼材腐食挙動の解析	株式会社神戸製鋼所 小澤 敬祐
鋼材の腐食挙動は、置かれる環境、鋼材の添加元素・組織だけでなく生成したさびの組成や分布によっても変化することが知られているが、さび組成の二次元分布は十分明らかになっていない。そこで、放射光測定によるさびの二次元分布の分析を行い、さらに分析により得られた結果に対し機械学習を適用することにより、さび分布の可視化を試みた。その結果、ぬれ環境下では経時変化によりさび層中における黒さびの分布が広がっていくことが示された。	
ポリエステル GFRP 板の長期耐久性に関する研究-暴露 30 年までの外観と力学的特性の変化-	JWTC 銚子暴露試験場 促進試験担当課長 額賀 圭介
不飽和ポリエステルをマトリックス樹脂としたガラス繊維強化プラスチック（以下 GFRP）の屋外暴露試験を、施設の寿命予測を行うための基礎データを得る目的で、通産省（当時）のプロジェクトとして 1992 年から開始された。調査期間が終了した 2002 年以降は、日本ウエザリングテストセンターが自主研究として屋外暴露試験を継続している。暴露 30 年目の観察と力学的特性試験を実施し、これまでの結果と合わせて整理した。	
規格、相関性を重視した『キセノンランプ式耐候性試験装置』の最新技術動向	岩崎電機株式会社 森 一郎
材料の劣化評価に不可欠な「耐候性試験」の基礎から、キセノンランプ式試験装置の特長と結果の評価方法（色差・光沢）までを解説する。光源ごとの特性や評価方法の違い、相関性・再現性の考え方、受託試験の活用についても紹介する。	
全国公設試における高分子複合材料の屋外暴露試験について	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 大石 晃広
産業技術推進会議(産技連)高分子分科会では、PP/CNF 複合材料の耐候性評価を行うため、傘下の公設試 44 機関が参加し 2 年間の屋外暴露試験を実施した。共通試験片を用意し各機関に配布し、屋外暴露試験、強度試験、外観観察のラウンドロビンを実施した。今回の試験では CNF の PP 樹脂に対する光劣化への影響を検討した。高分子分科会では過去にも耐候性評価を行うための屋外暴露試験を実施しており、その結果を合わせて紹介する。	
日本国内における炭素鋼及び亜鉛を対象とする推定腐食マップ	一般財団法人電力中央研究所 大原 信
電力中央研究所では、炭素鋼及び亜鉛を対象として、環境因子マップ（飛来塩分量や濡れ時間等）にドーズレスポンス関数（DR 関数）を組み合わせることで推定腐食マップを作成し、日本国内の立地に応じた大気腐食性を広域的に評価するフローの構築を進めている。本発表では、国内の大気暴露試験データに基づいた DR 関数の提案や、沿岸～内陸での海岸線の距離に応じた腐食速度の減衰傾向を再現する推定腐食速度マップの作成等について報告する。	

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園 1-1-11

TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529

E-mail : seminar@jwtc.or.jp